

第18回日本国際漫画賞 優秀賞受賞作品！

台湾漫画界の実力派・左萱^(サケン) が描く話題作『芭蕉の芽』の日本語版、
10月23日 Web 連載開始、12月17日単行本 1・2 巻同時発売！



台湾で刊行された漫画『芭蕉的芽』（左萱・著／蓋亞文化有限公司・発行）の日本語版『芭蕉の芽』が登場。実業之日本社は、10月23日（金）より「COMIC リュエル&ジャルダン」ほか複数のプラットフォームで Web 連載を開始し、12月17日（木）に単行本 1・2 巻を同時発売します。

1930 年代、日本統治下の台湾。自由を校風とする旧制高校・台北高校を舞台に、少しずつ「自由」が失われていく時代のなかで、文学同人誌づくりに情熱を注ぐ若者たちを描いた青春群像劇です。

近年、『隙間』（高妍・著／KADOKAWA）をはじめ、独自の表現力と高い作品性を備えた台湾漫画が日本でも注目を集めています。実業之日本社は、本作を日本の読者に届け、紙の本として未来に残したいという思いから、蓋亞文化有限公司の協力のもと、創業 130 周年記念企画として刊行します。

※日本語版の刊行にあたり、1・2 巻ともに、左萱氏がほぼ全ページに加筆・修正を施しました。

★単行本と同時に電子書籍も刊行いたします。蓋亞文化有限公司より配信されていた電子版「芭蕉の芽」1 巻～2 巻は 10 月 21 日に販売を停止しますが、購入済みのお客様は引き続きお読みいただけます。



◆『芭蕉の芽』について

1930年代、日本統治下の台湾。 文学と自由を愛する若者たちの青春群像劇

自由を校風とする旧制高校・台北高校で出会った台湾人の葉星橋と日本人の南城雲太郎は、仲間たちとともに文学同人誌『鐘の音』の創刊を目指す。

自由が少しずつ失われていく時代。それでも彼らは、本を読み、物語を紡ぎ、笑い、夢を追いかけた——。
友情、創作、葛藤、そして時代のうねり。

綿密な取材に裏打ちされた歴史描写と、透明感あふれる美しい筆致で台湾漫画界を牽引する実力派・左萱が描く青春グラフィティ。

本や作品について仲間と語り合ったことのある人なら、きっと胸が熱くなる渾身作！

本を愛する人へ、創作をする人へ、 そして、本を届けるすべての人へ——。

★ 単行本各巻には、それぞれ描き下ろしカラーイラストを複数枚掲載！



俺たちの
「鐘の音」
編集部

◆ 俺たちの『鐘の音』編集部

C H A R A C T E R S



葉星橋 (ヨウセイキョウ)

本島人 (台湾出身者)。台北高校の理科一年生。家族からは医学の道へ進むことを期待されているが、文学を愛し、小説を書いている。校内誌『翔風』に投稿した作品が雲太郎の目に留まり、自由奔放な彼に刺激を受けながら、ともにかけがえのない青春を過ごしていく。



南城雲太郎 (なんじょううんたろう)

内地 (日本) 出身。台北高校の文科一年生。星橋のルームメイト。豪快かつ繊細な文学青年で、人を惹きつける不思議な魅力の持ち主。停学処分を受けて以降はあまり学校に姿を見せないが、仲間たちと文学同人誌『鐘の音』創刊のために奮闘する。



簡杏紅 (カンキョウコウ)

台北女子高等学院の生徒。筆名・竹間杏之助。男装して台北高校の読書会に潜り込んでいたところ、雲太郎にスカウトされる。



林晨光 (リンシンコウ)

同人誌『鐘の音』の営業担当。なぜか高校生とは思えないほど幅広い人脈とコネクションを持つイケメン。



花野正吉 (はなのまさよし)

台北高校の文科一年生。雲太郎とは尋常科時代からの付き合い。心優しい性格だが、その文章からは筆鋒鋭い人物と思われがち。



江藝生 (コウゲイセイ)

同人誌『鐘の音』の挿絵担当。13歳で尋常科に在学中。図画科の塩月先生に推薦され、仲間入りした天才児。

◆ 画像ダウンロード URL

<https://drive.proton.me/urls/X9FANXD8Y4#PXw1Sq2ZBDPP>

★画像をご使用の際は必ず近傍に所定のクレジット © 左萱 / Zuo Hsuan を表示してください。

◆ 著者メッセージ・左萱

「葉」の生命力、「雲」の自由。

私が描きたかったのは、昭和の面影が残る台湾を舞台にした、明るく、熱を帯び、そして燦然と輝く青春のひとつときです。

◆ 著者プロフィール

左萱 (サケン／Zuo Hsuan)

繊細で透明感のある筆致と豊かな色彩感覚、そして徹底した歴史考証に基づく物語づくりで高い評価を受ける台湾の漫画家・イラストレーター。

2015年に初の長編漫画『神之郷』を発表。同作は第10回日本国際漫画賞で銅賞を受賞。

本書『芭蕉の芽』の原作『芭蕉的芽』は、第14回金漫獎年度漫画賞を受賞。さらに第18回日本国際漫画賞で優秀賞を受賞した。

台湾国内にとどまらず、フランス、イタリア、ドイツなどの国際イベントに招聘されるなど、世界的に注目を集めている。

Instagram : @zuohsuan

R E C O M M E N D E D B Y

小説家

伊坂幸太郎氏「面白かったです!!!」

雲太郎の初登場シーンの、ぱっと青空が広がるような爽やかさに心をつかまれました！

主人公と雲太郎は、僕の小説に出てくる二人組のようで、「誰にも媚びず、心の中を自由に描く。それが俺たちの同人誌だ」と言うまっすぐさ、熱さに、はっとさせられました。

イラストレーター

マツオヒロミ氏「本と、自由を愛する全ての方に！」

1930年代の台湾の街や校舎などの描写がレトロでロマンチック！とても丁寧に愛情たっぷりに描き込まれていて、近代建築や昭和初期の雰囲気が好きの方はきっとツボをぐいぐい押されると思います。

舞台は日本統治時代の台湾、エリート校に通う少年少女が「自由」を旗印に、「自由」であるために新雑誌を創ろうと立ち上がる。抑圧の時代に生きる彼らが自らの手で自由を抱こうとする姿に勇気付けられます。

本と、自由を愛する全ての方に届けたい物語です。

漫画家

紗久楽さわ氏「文学は“2人の心”を繋ぐ…！」

1930年代台湾の男子寄宿学校、漆黒詰襟学ランの男の子たちの友情に、生徒会、男装の美少女、文学の息吹き！ストームの猛り！！ かつて少女漫画で大好きだったものが、左萱先生のこの漫画にすべてあります。

若さと青春と時代のうねりを背負って、台湾人・葉星橋ちゃんと日本人・南城雲太郎くんが繋がりをあう姿が、いま最も私たちや世界が必要とする“文学”そのものではないでしょうか。

◆ 連載 & 単行本情報

Web 連載 「COMIC リュエル & ジャルダン」 (実業之日本社)

<https://comic.j-nbooks.jp/>

連載開始日：2026 年 10 月 23 日 (金)

※ニコニコ漫画 (10 月 23 日～)、pixiv コミック (10 月 24 日～) でもお読みいただけます。

リュエルコミックス

『芭蕉の芽』 1 巻・2 巻

著者：左萱 (サケン)

発売日：2026 年 12 月 17 日 (木)

定価：各 1,100 円 (税込)

判型：A5 判並製

発行：株式会社実業之日本社

1 巻 ISBN：978-4-408-64251-2

2 巻 ISBN：978-4-408-64252-9



※書影は制作中の仮画像です。

『芭蕉の芽』公式サイト

<https://www.j-n.co.jp/bashonome/>

◆ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社実業之日本社 漫画出版部

森川和彦 morikawa@j-n.co.jp

TEL：03-6809-0473

〒107-0062 東京都港区南青山 6-6-22 emergence 2

<https://www.j-n.co.jp>

原書『芭蕉的芽』発行元

蓋亞文化有限公司

10353 台湾台北市承德路二段 75 巷 35 號

<https://www.gaeabooks.com.tw/>